

イノベーションに情熱を。  
ひとに思いやりを。



## 第一三共グループの環境経営について

2017年8月30日（水）  
Science Based Targets策定セミナー

第一三共株式会社  
CSR部 上原 勉

# 会社概要



会社名：第一三共株式会社

設立：2005年9月28日

事業内容：医療用医薬品の研究開発、製造、販売等

資本金：500億円

本社：東京都中央区日本橋本町三丁目5番1号

支店：札幌支店、東北支店、東京支店、千葉支店、埼玉支店、  
横浜支店、関越支店、東海支店、京都支店、大阪支店、  
神戸支店、中国支店、四国支店、九州支店

研究所：品川研究開発センター、葛西研究開発センター、  
館林バイオ医薬センター、製薬技術本部平塚拠点



## 医薬営業ユニット (イノベティブ医薬品事業)

「信頼される医療パートナー」として、新しい薬物療法の  
情報を継続的に提供し先進医療の進歩に貢献します

## 第一三共エスファ (ジェネリック医薬品事業)

新薬メーカーとして培ってきた信頼や安心をベースに  
超高齢化時代の国民医療に貢献します

## ワクチン事業ユニット： 北里第一三共ワクチン、ジャパンワクチン (ワクチン事業)

革新的なワクチンの創出、高品質なワクチンの安定供給  
で保健衛生の向上に貢献します

## 第一三共ヘルスケア (OTC医薬品関連事業)

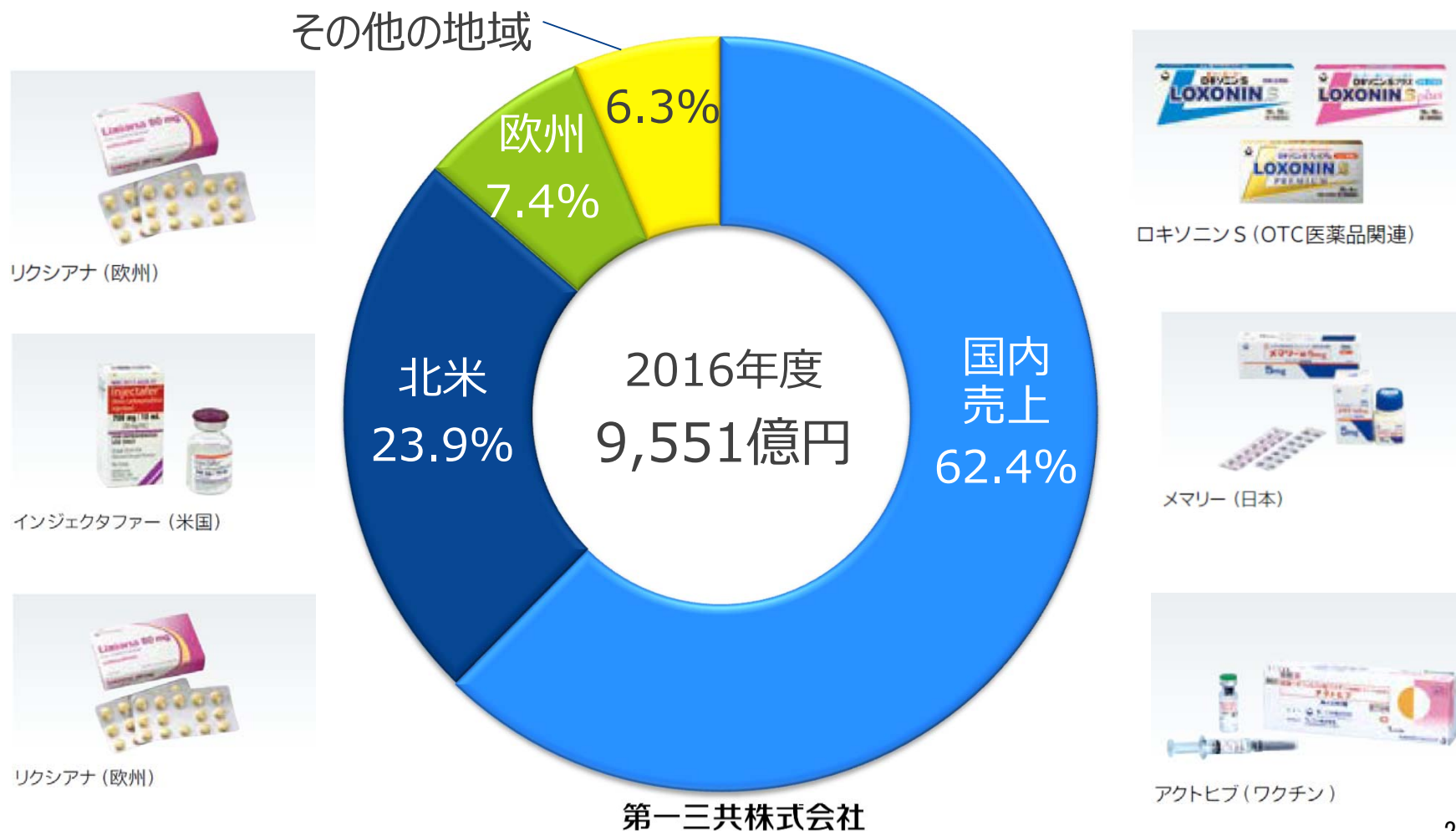
コンシューマーヘルスケアカンパニーとしてセルフメディ  
ケーションを推進し、健康寿命の伸長に貢献します

第一三共株式会社

# 第一三共グループ 売上構成

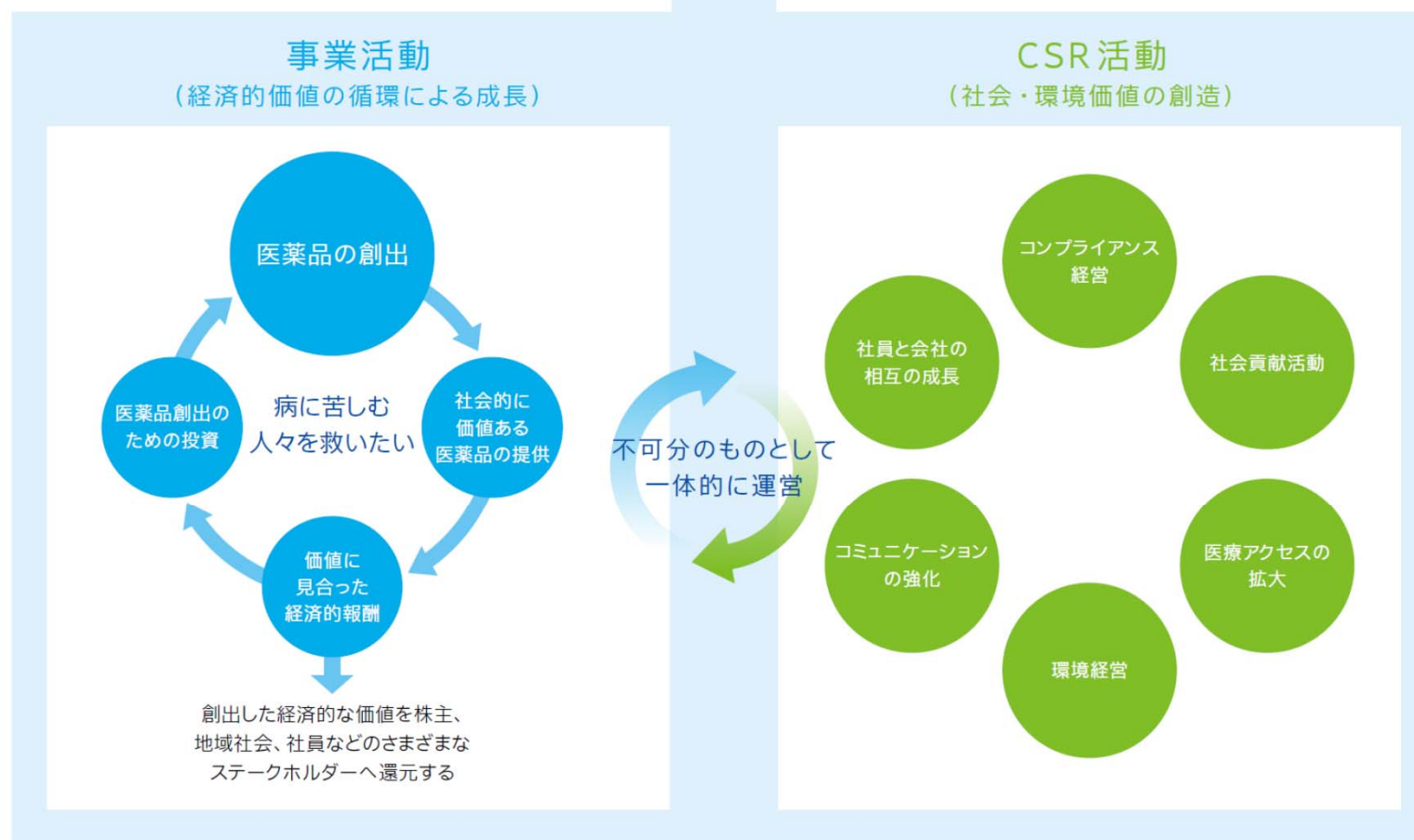
## 地域別売上状況

売上高 : 9,551億円  
従業員数 : 14,670人(国内 8,648人)

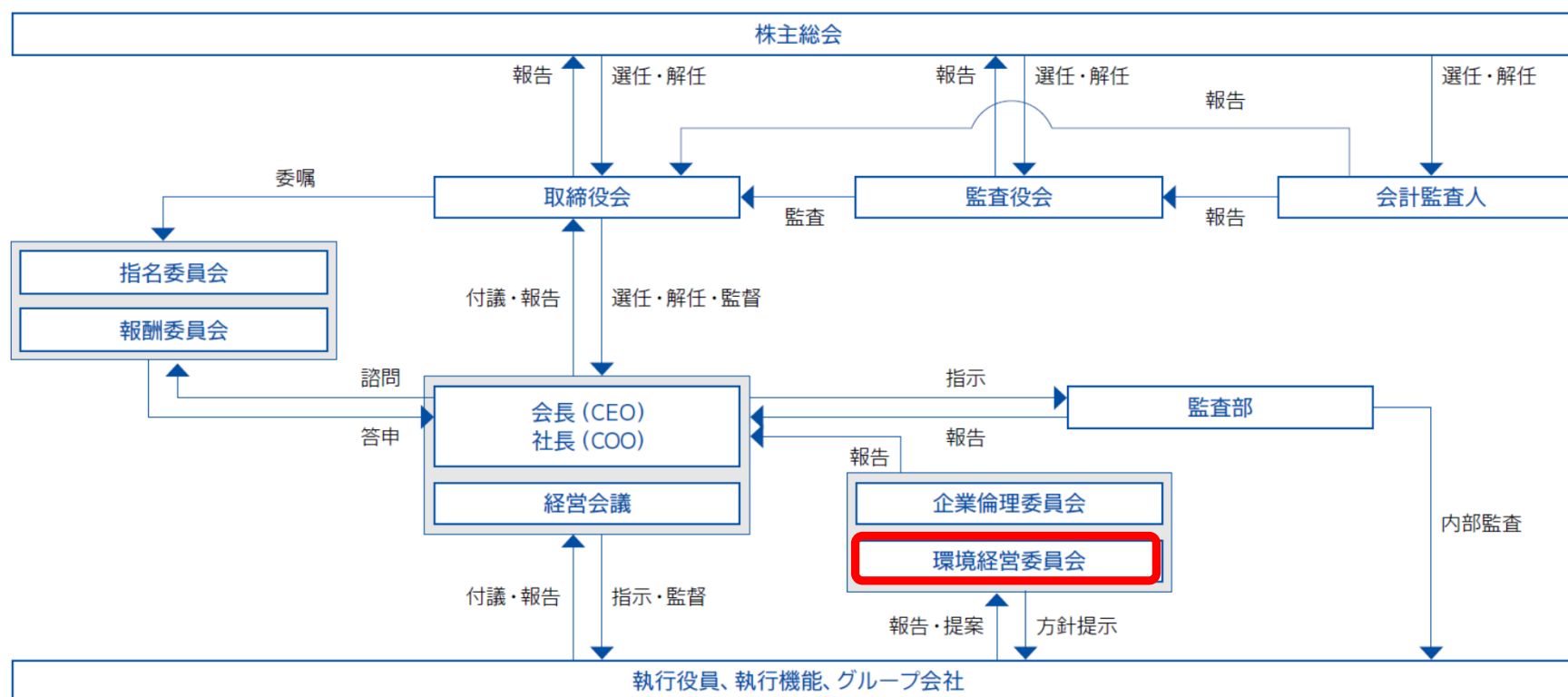


# 持続的な企業価値向上に向けた事業とCSR活動

## 持続的な企業価値向上



# コーポレートガバナンス体制図



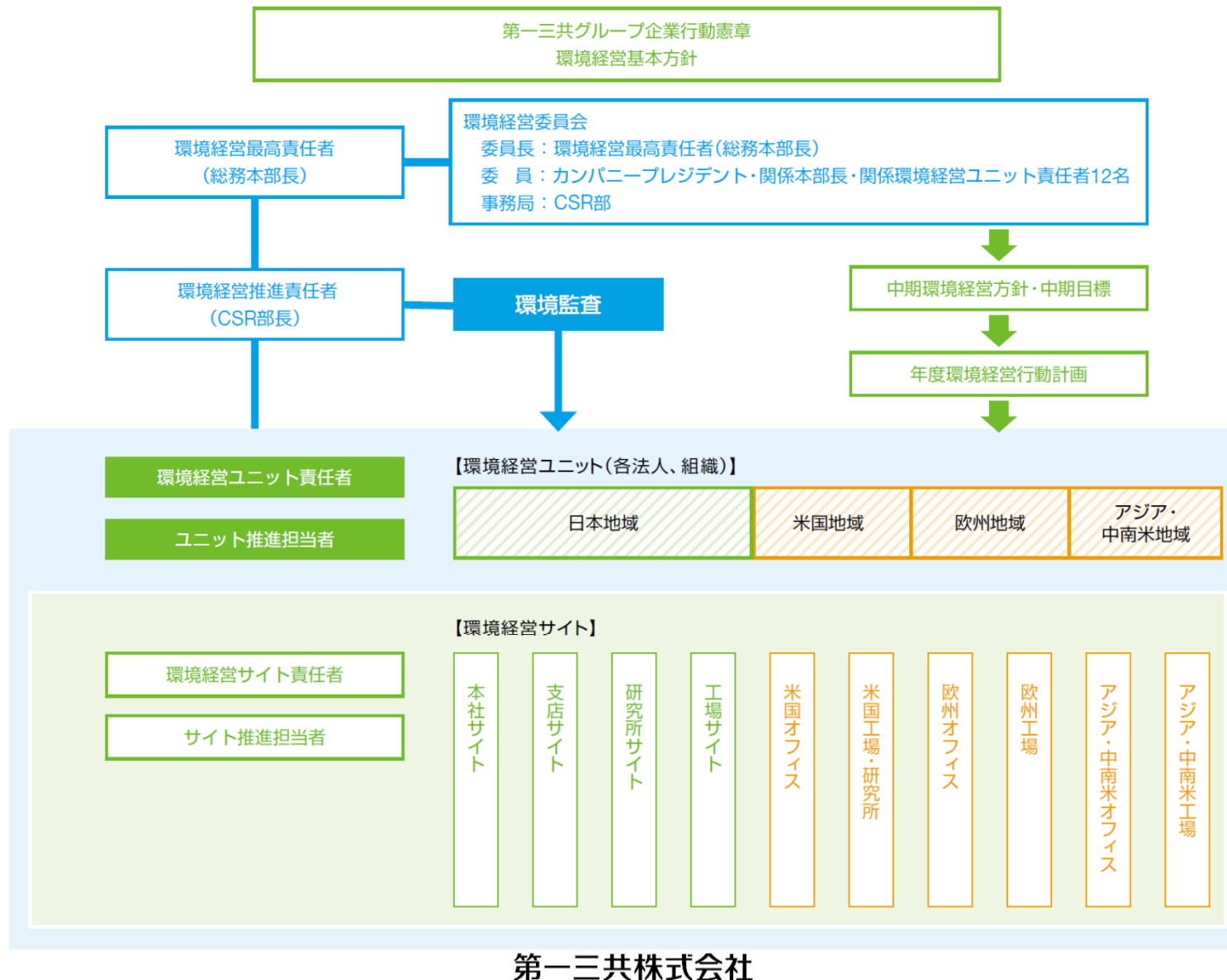
## 第一三共グループ企業行動憲章（第6条）

- 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件として、事業活動が及ぼす環境への影響に主体的に対処する。

## 環境経営推進規程（第4条 基本方針）

- 生命関連企業である当社グループは、企業活動全般を通じ、すべての生命活動の基盤となる地球環境の保全を重要な経営課題と位置づけ、良き企業市民として持続可能な社会作りに貢献する環境経営を推進する。

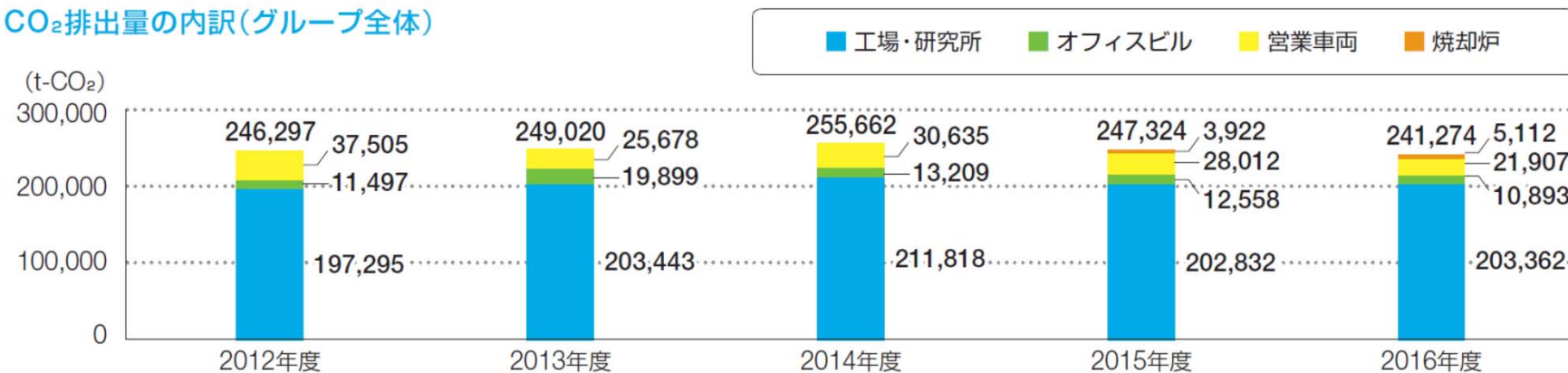
# 第一三共グループ環境経営推進体制



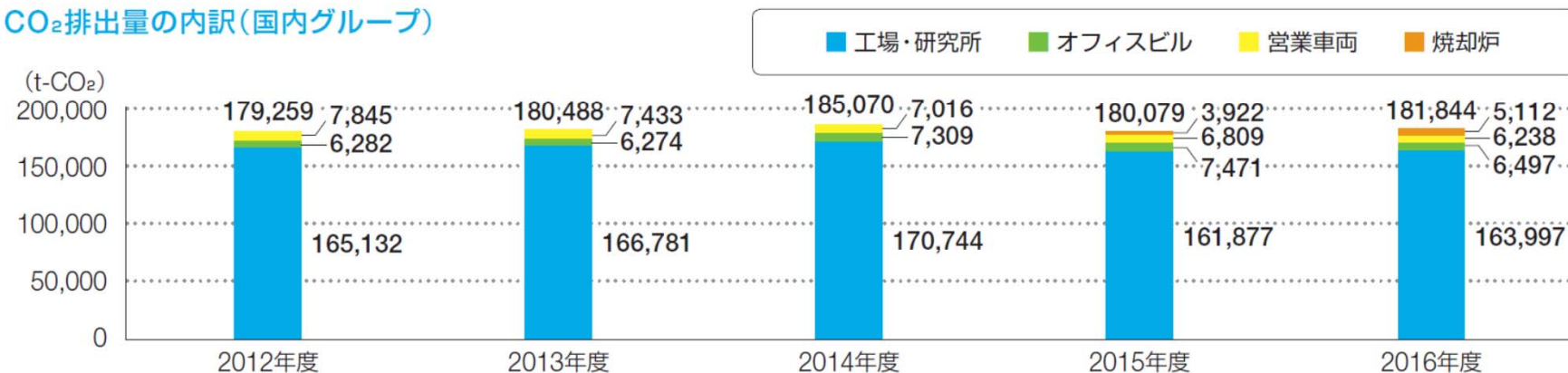
# CO2排出量の推移



CO<sub>2</sub>排出量の内訳(グループ全体)



CO<sub>2</sub>排出量の内訳(国内グループ)



# 取り組み事例①

## 環境監査



環境監査風景

## 省エネ活動



「平成28年度エネルギー管理優良事業者等関東経済産業局長表彰」を受賞

## 第三者検証



第一三共株式会社

## WET試験



採水の様子

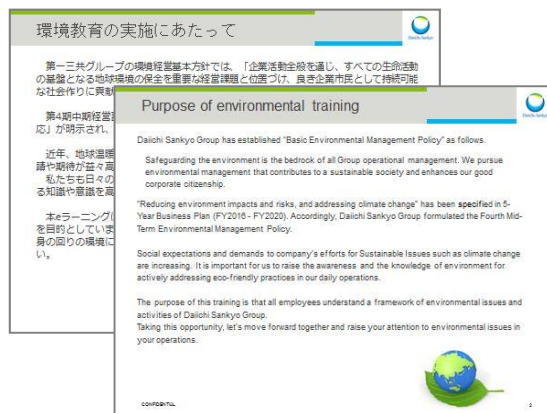
## 生物多様性



希少性植物のキンラン(絶滅危惧Ⅱ類:環境省レッドデータブック)の事業所敷地内での保護活動

# 取り組み事例②

## 環境eラーニング



国内外の社員を対象とした環境eラーニング

## 第一三共グループ COOL CHOICE プログラム



国内グループ会社社員参加型の  
環境配慮推進施策

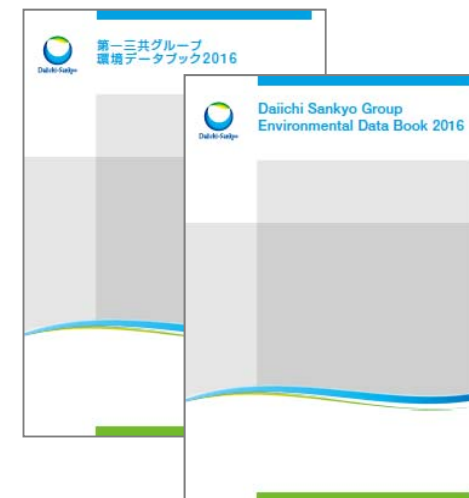
## 環境意識向上ポスター



環境コンテスト優秀作品を用いた  
環境啓発ポスターの作成・掲示

第一三共株式会社

## 環境データブック



## 温暖化対策研修会



環境担当者を対象とした研修会

## がんが強みを持つ 先進的グローバル創薬企業

- がん事業を中心とするスペシャルティ\*領域での事業が中核  
( \* 病院・専門医で処方される医薬品 )
- 各国市場に適合したリージョナルバリュー\*製品が豊富  
( \* 各地域の事業戦略に適合した製品 )
- SOC\*を変革する先進的な製品・パイプラインが充実  
( \* スタンダード オブ ケア = 現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法 )
- 効率的な経営による高い株主価値

# 第4期中期経営計画

2016年度～2020年度

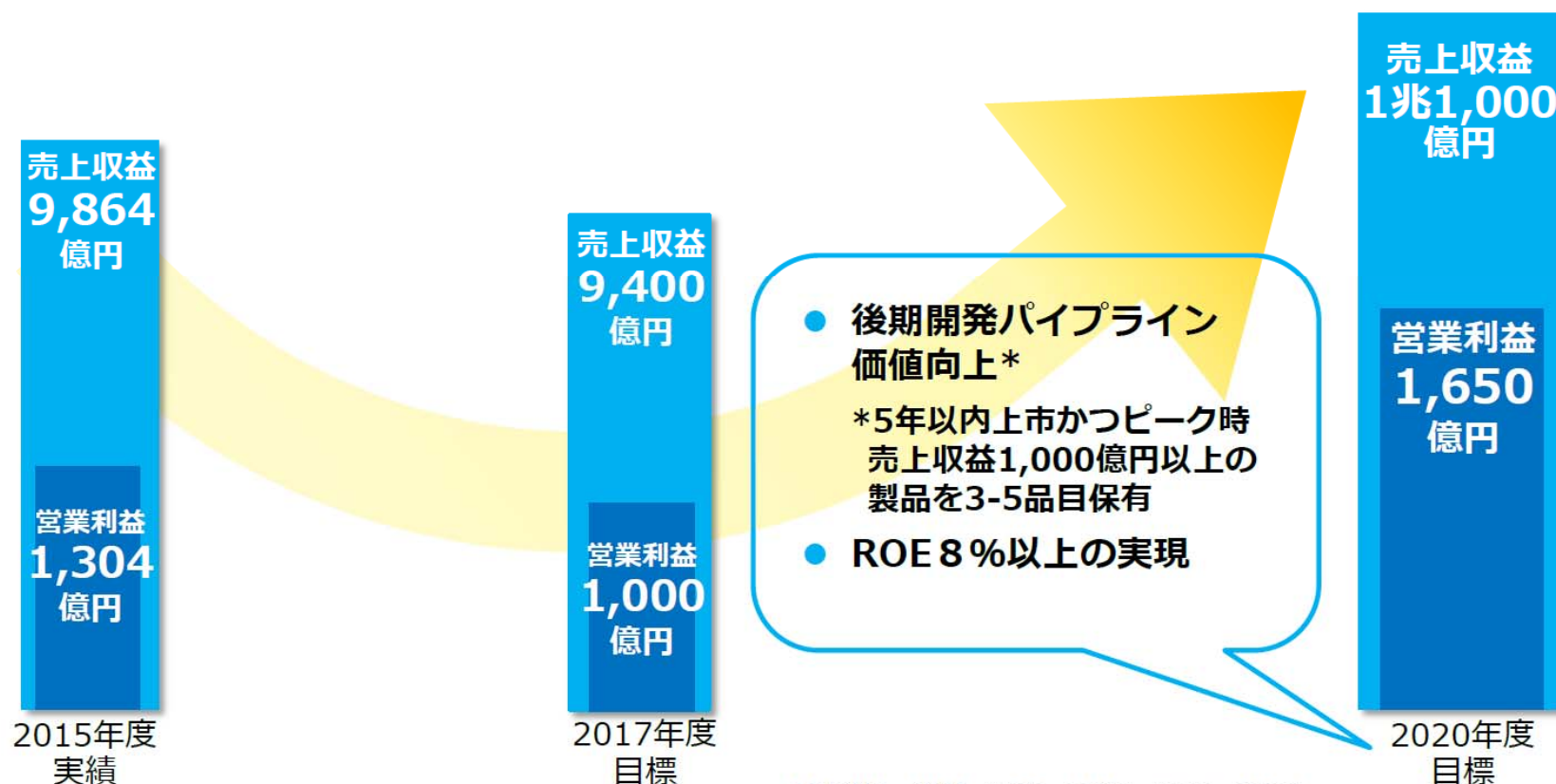


## 経営課題1

オルメサルタン パテントクリフの克服

## 経営課題2

持続的成長基盤の確立



中計前提：為替 1USD=120円、1EUR=130円

第一三共株式会社

# 第4期中期経営計画－CSR－



## ◆コンプライアンス経営の推進

- 第一三共グループ個人行動原則をはじめとするグローバルコンプライアンスポリシーの徹底

## ◆社員と会社の相互の成長

- 「先進の志、誠実さ、情熱」の醸成と多様性の尊重による価値創造、競争力確保のための人材育成

## ◆コミュニケーションの強化

- CSR/ESG情報の効果的な発信と外部評価の向上

## ◆環境経営の推進

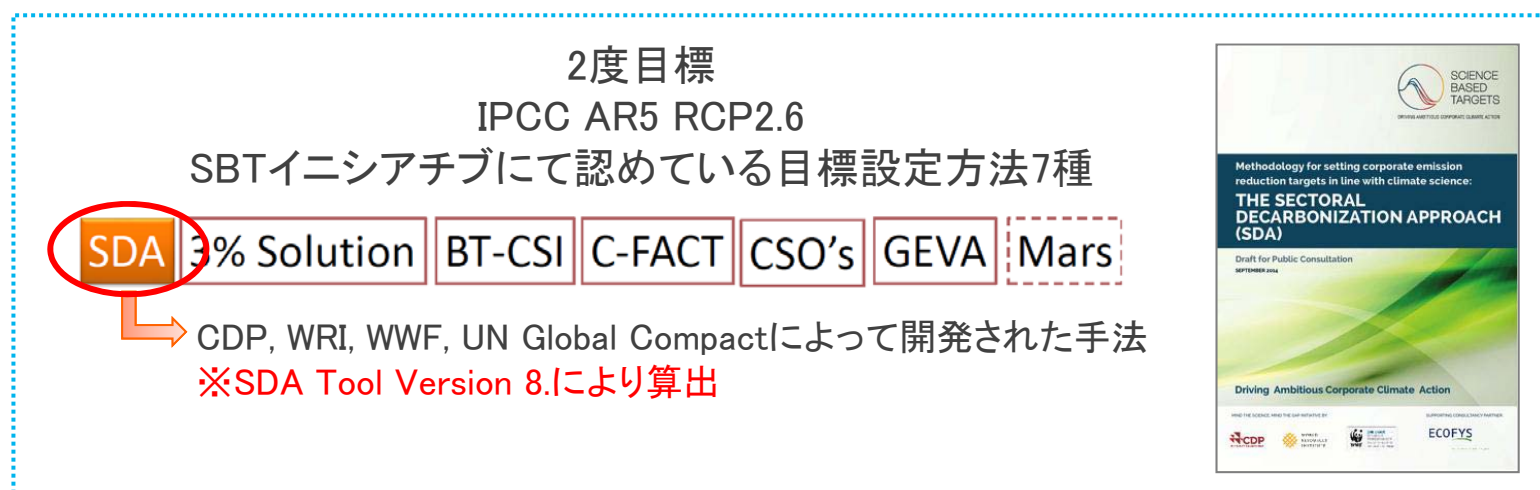
- 環境負荷と環境リスクの低減および気候変動対応  
(2020年度CO2排出量目標：2015年度比▲5.6%)

## ◆医療アクセスの拡大

- 難病・希少疾患やグローバルヘルスにおける研究開発の促進
- 医療インフラが未整備な地域における移動診療、保健人材の育成、地域住民への保健衛生の啓発活動の実施

# SBTによる目標設定

- CO2排出削減の中期目標の設定にあたり、SBTイニシアチブがIPCC AR5 RCP2.6と整合していると認めている目標設定方法の一つであるSDA（部門別低炭素化手法）を活用し算出された削減値を目標とした。



- 当社グループのスコップ3の割合が40%以上（2015年度実績：約70%）であるため、スコップ3（スコップ3の2/3を占める「購入した製品・サービス（カテゴリー1）」）について、「主要サプライヤー（取引額上位90%）の内、CO2削減目標のないサプライヤーに対し、2020年までに目標を設定させる」ことを目標とした。

# 第一三共コーポレートウェブサイト CSR活動だより



第一三共株式会社

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

お問い合わせ | Worldwide | サイトマップ

▶ 一般・患者の皆さま ▶ 医療関係者の皆さま ▶ 株主・投資家の皆さま ▶ 採用情報 ▶ 会社概要

サイト内検索



TOP > 会社概要 > CSR > CSR活動だより > 第一三共グループのCO<sub>2</sub>削減目標が国際的イニシアチブである「Science Based Targets」から承認されました。

## 第一三共グループのCO<sub>2</sub>削減目標が国際的イニシアチブである「Science Based Targets」から承認されました。

当社グループのCO<sub>2</sub>削減目標が、国際的イニシアチブである「Science Based Targets (SBT) ※」から科学的根拠に基づいたCO<sub>2</sub>削減目標として承認されました。

SBTの考え方にに基づき、2030年までの長期的なCO<sub>2</sub>排出量目標（27%削減）を見据えた上で、第4期中期経営計画の最終年度である2020年度のCO<sub>2</sub>排出量目標として、2015年度比5.6%削減を設定しています。

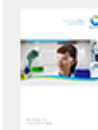
当社グループは、これからも、地球温暖化対策をはじめとするサステナビリティ課題に対し、責任ある企業活動を推進してまいります。

※CDP、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）による、パリ協定の目標である世界の平均気温上昇「2℃未満」の達成に向け、科学的根拠と整合したCO<sub>2</sub>削減目標を企業に求める国際的イニシアチブ。

詳細については、<http://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/> をご覧ください。

### レポート

#### バリューレポート



- ▶ 資料ダウンロード
- ▶ 冊子のご請求（エコもっとライン）  
☞
- ▶ バックナンバー

#### 環境データブック



- ▶ 資料ダウンロード
- ▶ バックナンバー

#### 社会貢献活動レポート

- ▶ 資料ダウンロード
- ▶ バックナンバー

#### CSR

第一三共株式会社